



# 会より さくら会 だより

\*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第55号 2020年7月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1  
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955  
ホームページ：http://www.sakurakai.jp/

20周年を迎えて

かけはし「一とともに歩む未来へ」

社会福祉法人さくら会

理事長 前田 武昭



社会福祉法人さくら会は地域の皆様に支えられ、この5月に20周年を迎えました。誠にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

思い起こせば、この20年、高齢者は増え続け、少子化や核家族化により働き手は減り、介護保険制度のあり方も大きく変わりました。国は地域包括ケアシステムを推進し、自助、互助の概念の重要性をうたっています。働き手である職員へ向けては、働き方改革やA・ICT化、外国人の採用等で介護人材の確保・定着を図るべく施策を進めております。



永年勤続者表彰式の様子(上:中:下)  
前田理事長より表彰状授与



さくら会はこの品川の地で中核施設である介護老人保健施設ケアセンター南大井をはじめ、高齢者の相談窓口である在宅介護支援センターや特色を生かした各種デイサービス、在宅介護には欠かせないヘルパーステーション、訪問看護ステーション、小規模多機能型居宅介護を運営しております。また、自立の状態が入居して頂き、たとえ心身状態が低下し介護が必要となっても可能な限り住み続けることができる住宅型の施設を有し、そのうち特定施設であるケアホーム西五反田ではその方の最期



4グループの少人数制で行いました。

まで寄り添う看取りを行っています。正に高齢者が住み慣れた地域で尊厳を失わず生活を続けられるようさまざまな事業を切れ目なく展開してまいりました。

ところで近年は、毎年のように地震や大雨等の災害が各地で発生し、被災地の現状を見聞きするにつけ、住み慣れた地域で安心して暮らせることの尊さを実感いたします。

また、今年2月には日本で初めて新型コロナウイルス感染者が確認され、流行拡大を憂慮する日々が続いています。この広報誌を発行する頃には終息していることを祈りつつ、今後とも地域の皆様がさくら会により一層親しみ、安心して利用していただけますよう、職員一同協力してともに歩んでまいります。

## 新任挨拶



常務理事 福島 進

令和2年4月に常務理事に就任しました福島進と申します。これまでの仕事の経験を生かして、さくら会の発展のために全力で尽くしてまいります。

さくら会は今年で20周年を迎えました。これまでさくら会が培ってきた高齢者の福祉・医療・保健、さらに地域福祉の精神およびスキルを今後も大切にしていきたいです。利用者や地域の皆様、そして職員の方々とさくら会を大いに盛り上げてまいりますので、よろしくお願いたします。

## 新人紹介

常務理事と新たに採用された職員をご紹介します。

総務部 事務職

赤松 綾子



3月から総務部で庶務を担当しております、赤松綾子です。一日でも早くご利用者や職員の方々の顔を覚え、業務に取り組めるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

ケアセンター南大井

介護職 阿部 千恵



さくら会の一職員として、信頼して頂ける仕事ができるよう、只今奮闘中です。ご利用者の皆様の笑顔や穏やかな姿が、日々のエネルギー源です。どうぞよろしくお願いたします。

ケアセンター南大井

作業療法士 森 理紗



10月より、作業療法士として勤務しています。利用者様がリハビリや体を動かすことを好きになってもらえるよう、日々明るく元気に過ごしていきたいとお願いたします。よろしくお願いいたします。

ケアセンター南大井通所リハビリ

介護職 鳥羽 邦紘



昨年8月に入職いたしました。安心して過ごせる場所、笑顔が行きかう空間作りを目指すために、利用者様の気持ちや思いを誰よりも汲み取れる介護士になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

南大井訪問看護ステーション

看護職 焼野 ノリ子



4月より非常勤から常勤職員になりました。利用者様が安心してご自宅で生活できるよう支援させていただきます。趣味は登山です。どうぞよろしくお願いいたします。

月見橋在宅サービスセンター

介護職 徳田 美代子



皆様はじめまして。月見橋在宅サービスセンターに配属になりました徳田です。「笑う門には福来る！」笑顔を大切に頑張ります。ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

月見橋在宅サービスセンター

介護職 宮本 紀美子



この度、4月より常勤介護職員として勤務させていただきますこととなりました宮本紀美子です。ご利用者様に笑顔で接し、また笑顔で過ごしていただけるよう一生懸命努めてまいります。

# コロナ禍中の施設生活

## 介護老人施設ケアセンター南大井

老健では、このたびの新型コロナウイルス感染症の予防対策として、数ヶ月にわたり、面会や外出、ボランティア等の受け入れを中止いたしました。ご利用者・ご家族および関係者の皆様には多大なるご心配ならびにご不便をおかけいたしました。そのような状況の中、施設内では感染予防に十分留意しながら、ご利用者の心身の健康維持に努めて参りました。体操を取り入れたレクリエーションや、日光浴による気分転換、日頃、ボランティアの方々のおかげで実施していたクラブ活動も、可能な限り継続しようと、職員が慣れない手つきで講師を務めたり、生演奏の代わりにIT機器（パルコ）を使用して歌を歌うなど、日々の生活を楽しんでいただく工夫をいたしました。



2階フロアの手すりを利用し、リハビリスタッフと歩行練習の様子



体操・レクリエーションにて、体力維持に努めました。



4階庭園にて、日光浴も兼ねた屋外リハビリの様子

リハビリについても、1階のリハビリ室ではなく、各生活フロアでの実施で、多少不便を強いられることもありましたが、より生活に密着したリハビリが実践できたと感じる新しい発見もありました。

今後も今回の経験を活かしながら、より良い施設づくりに努めて参りたいと思います。

# 老健における減薬の取り組みを発信！

2月19日（水）、品川区役所にて品川福祉保健従事者実践・研究発表会が開催されました。この発表会は品川介護福祉専門学校主催により品川区の福祉保健等の分野で働く職員の専門的知識や技術の向上等、区民の福祉に寄与することを目的に平成27年2月から行われているものです。

今回さくら会は、介護老人保健施設ケアセンター南大井から、「高齢者とポリファーマシー」と題し、高齢者の多剤併用によって引き起こされる問題に対し、減薬を行うい、ご利用者の生活の質の向上を図る取り組みを発表しました。一人のご利用者を施設と



地域・在宅で連携し、適切な処方につながる取り組みの発信であることが評価され、優秀賞に選ばれました。

今回の受賞を励みに、これからも入所者お一人おひとりの薬剤処方の適正化を目指し、取り組みを続けていきたいと思えます。

※減薬の取り組みについては、前号（54号）にも掲載させていただきました。



# 今年は何年以上に熱中症に気を付けなさいといけなさい、その理由

コロナ感染予防のためマスク着用・外出自粛の日々で熱中症リスクが上がってしまっています。

マスクを着けて過ごしていると、体内に熱がこもりやすくなってしまう。常にマスクをしたままの人であれば、どの湯ぎに気づきづらくなります。またマスクを外してはいけないという思いがあり、気づかないうちに水分補給を避けてしまうことも脱水の一因になりうるでしょう。

また外出自粛の生活をしていれば、運動をしていない傾向にあり、筋肉量が減っています。筋肉は身体の水分を貯めるもつとも大きな臓器のため筋肉量が少ないということは保持できる水分量が少ないということ、すなわち、脱水になりやすいともいえます。

## 熱中症予防のポイント



- ① 食きちんと食べる。
- ② 喉が渇いたなと感じ始めたら水分摂取（多量のカフェイン摂取は控えます）
- ③ 水分補給が十分できない時のために経口補水液を家族1人2本×3日分の常備
- ④ クーラーをすぐ点けられるよう調整しておき、暑いと感じる環境にいない。
- ⑤ 換気をこまめにし、湿度も高くならないように注意しましょう。
- ⑥ 快適な環境でよく睡眠をとる（疲労も熱中症リスクになります）

○人混みを避けた散歩や室内での軽い運動を行う。

## 高齢者の水分摂取に関する注意点

喉があまり渇かなかつたり、トイレに頻繁にいかねばならないことを気にして水分摂取を避けてしまう人もいます。そういった方は無理してたくさんのお茶を飲むよりコップ一杯の経口補水液を飲むのが効果的でしょう。食欲がないので3食きちんと食べられないという状況でも脱水を起こさないよう水分摂取を心掛ける必要があります。その場合は1日500mlの経口補水液を1本飲むなどして水分と塩分を補いましょう

・経口補水液は高血圧の方など、塩分を制限しなくてはならない人は注意が必要です。医師、薬剤師に相談して飲むようにしましょう  
・アルコールはむしろ脱水状態を進めることになるので注意しましょう

2019年の熱中症による搬送者は全国で5月から8月までに71,317人でした。

\* 総務省消防庁熱中症情報

令和元年5月～9月の熱中症による搬送状況より

熱中症にならないことが自分の生命を守り、医療を守ることになります。

\* 教えて！「かくれ脱水」委員会  
緊急提言より

## 新旧評議員の紹介

### 退任

伊與田正志評議員

（大崎第一地区町会自治会連合会前会長）  
木下徹評議員

### 就任

宇田俊一評議員  
（大崎第一地区町会自治会連合会会長）

大串史和評議員  
（品川区社会福祉協議会常務理事）

退任された方々、これまでのご支援に心より感謝申し上げます。

新たに就任された方々におかれましては今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

## ありがとうございました。

件数 61件  
金額 717,400円

## 令和元年度寄付のお礼

令和元年度、多くの皆様から温かいご支援をいただきました。さら会の各事業に対し深いご理解、ご協力をいただき心より御礼申しあげます。

いただいた寄付金品は、本会事業のために活用させていただきます。

## 第19回さくら会まつり中止のお知らせ

令和2年11月1日（日）に予定していましたが、さら会まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に鑑み中止させていただきますこととなりました。

## 連載No.14

## ……専門職に聞く……

南大井在宅サービスセンター  
介護職 芝崎 ひとみ

### Q1：仕事の内容

1階デイサービスにて、通われている方々の入浴のお手伝い、送迎、フロアでのレクリエーション活動、クラブ活動などを提供しております。

### Q2：専門職として心掛けていること

常に笑顔で！を忘れずに、ご利用者一人ひとりにさら会での一日を安心・安全・快適に楽しく過ごして頂けるよう心がけています。

### Q3：ご利用者、読者に向けてメッセージ

さら会のデイサービスで働き始めて今年で9年目になりました。ご利用者の方には、「さら会に来て良かった。」「今日も一日楽しかった。」と思って頂けるよう日々努力していきたくと思っています。笑顔を忘れずに頑張っていきますので、これからもよろしくお願ひします。



次回10月号は「理学療法士」

大底 善太さんの登場です！

さら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0013 品川区南大井5-19-1  
社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、令和2年10月です。